

平成30年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立太田小学校
作成日	平成30年3月1日

1 教育目標

豊かな心を持ち、自ら考え、正しく生きぬく子どもを育成する。

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	・各学年の最終目標をしっかりと教員が分析し、認識して取り組むことが大切である。各学年の指標を作ってはどうか。	・挨拶は、コミュニケーションの基本中の基本なので、小学生からしっかり身につけてほしい。また清掃は責任感など基本的な人格形成に必要なことを学ぶことができるため、この指標でよいのでは。	・運動する機会を計画的に行うことや、災害から命を守る防災対策をしっかりとしていくことは重要であるため、この指標でよいと考える。	・地域との交流や学校からの情報発信は積極的に行ってほしいからこの指標でよい。
重点目標に対する意見	・学びを深め合う授業を推進する前段階として、まず子どもたちが楽しい、やってみたいと感じる授業づくりが大切だと思う。	・この重点目標で次年度も取り組んでほしい。	・歯磨き活動はよい。 ・危機回避能力を育成するため、継続して訓練を行ってほしい。	・情報提供は継続していくことが大切だと思う。 ・地域の資源発掘や活用は難しいと思うが、推進して行ってほしい。
取組状況に対する意見	・家庭学習の充実の定着度を分析してみてもどうか。 ・自分の考えを伝えるための一つとして、太田タイムにおいて、作文指導や表現の仕方を学習してはどうか。	・縦割り活動、あいさつ運動ともいいです。 ・異なる意見の相手とも意見を交じ合わせられるようにディベートなどの取り組みを行ってはどうか。	・県チャレンジランキンを継続して行ってほしい。 ・ドッジボール大会等のイベントを考えてみてはどうでしょうか。	・一生懸命やっていただいていと感じる。取り組みを継続していくことが大切だと思う。
取組の適切さの検証結果に対する意見	・特に思考の言葉は、具体的でいいと思う。成長段階に応じて使いこなせればと感じる。	・学校で会うとしっかりとあいさつしてくれます。 ・読書で自分の知らない世界を知る機会を設けてくれているのはありがたいことである。 ・自分の気持ちを感情的に伝えることができるように指導し、相手の思いに気付ける子供を育成してほしい。	・縄跳び台は大喜びで取り組んでいる姿をよく見かけます。 ・初めての引き渡し訓練は、保護者の意識を高める機会となった。 ・休憩時間に先生も一緒になって外遊びをしてみたらうれしい。	・積極的に自治会に案を出して協力してもらえように働きかければどうか。 ・HPでの情報発信は、本当に有効かどうかは疑問だ。
改善方法に向けての意見	・基礎基本の徹底を図るうえで、子どもたちの習得状況を何度も確認していく。 ・学び合いのルール、思考の言葉、振り返りを定着させることを考えてください。 ・ディベートにも取り組んでほしい。	・読書活動では、偉人伝や名作に触れさせ、生き方を考える機会を持ってほしい。 ・規範意識とともに、命の大切さをしっかりと考えさせてほしい。	・偏平足の子供が多いように思うので、裸足で歩く活動を取り入れてみてはどうか。 ・県チャレンジランキンに全校で取り組む時間を設定し、結果を出す喜びを感じさせてはどうか。 ・校内マラソン5分走などを実施してはどうか。	・地域との連携面において、お願いだけでなく、学校側が提供できることもはないかと考えてみることも大切だと思う。

3 その他のご意見

・年々、学校が美しくなっている。校門付近は、1年間花が絶えない。また校内外の様々な場所が新たにペンキが塗られている。トイレや図書室も整備され、子どもたちの学習環境は年々よくなっている。さらに計画的に進めてもらえれば、たいへんありがたい。  
・使える英語学習をお願いします。